

ミサゴ便り

平成 23 年 4 月 20 日発行

弓削野鳥の会編集発行

2 月 27 日（日） 江田島方面へ 滝田氏と旧交を温める。

如月の肌寒い曇り空のもと、恒例の町外遠征を実施しました。今回



は、広島県江田島市海軍兵学校近くに位置する、ふるさと交流館内江田島市観光協会・事務局長 滝田一郎氏と旧交を温める目的で、急遽、鳥見も兼ねて江

田島市へ行くことになりました。滝田氏は昨年 4 月に出身地であります岩手県から当地に引越しされました。朝 7：10 発の家老渡フェリーで会員 6 名が一路江田島市へ、約 3 時間かけて到着、久々に滝田氏と再会できました。滝田氏とは平成 9 年に私が教育委員会に配属され、公民館活動として初めてバードウォッチングなるものを取り入れた際に、当時、弓削商船学校に勤務されていた滝田氏の申し出により当会を設立することになったものです。当会の創設者でも

あり、また我々の恩師であり、また自然観察会の良き指導者でもあります。当日は滝田氏の案内で近くの海上自衛隊・第1術科学校、幹部候補生学校を案内していただき、イギリス、アメリカとともに、世界でも最大の兵学校のひとつとして威容を誇っていた当時の様子を、展示している写真等で垣間見ることができました。総計1万3千人ほどの卒業生を出しているそうです。戦前、江田島といえば、海軍兵学校を意味したとおり、海軍機関学校、海軍経理学校とともに生徒三校と呼ばれていました。現在、兵学校跡地に海上自衛隊の第1術科学校及び幹部候補生学校になっており、学校内では、幹部候補生の海軍服のキリッとした濃紺一色の礼服姿に緊張感が漂っていました。まさに戦争映画の一コマを彷彿させる風景でした。3時間ほどの短い時間でしたが、楽しいひと時を過ごすことができ、滝田氏とも懐かしい思い出話に花が咲きました。また、今後、上島町にも自然観察会の指導者としてたびたび招聘いたしたいと思います。楽しみにしてください。

待望の巣箱に待ち人来る・・・シジュウカラ（始終空）

春爛漫、桜満開、我が家の周りの鳥たちも巣づくり準備で忙しそうです。うれしいことに、なんと、私の実家の庭の梅の木に吊り下げている巣箱の借受人が決まったようです。大家である私の両親も

毎日窓越しに、巣箱に巣材をいそいそと運ぶシジュウカラ夫婦の姿



を嬉しそうに観察しています。この巣箱は平成 21 年度に県の三浦保基金助成金により中学生が作製したものです。両親も楽しみにしているようで、近所の猫にやられないように梅の木の下の方に

ネットを張るなど、対応策を講じています。最近では朝夕巣箱の周りでさえずりを繰り返しており、シャッターチャンスがあれば撮影しようと狙いますが、なかなか良いチャンスに恵まれません。シジュウカラが家の周りに巣を作ると、家の財産がなくなる（始終空）と忌み嫌う地域もあるそうです。日本では4月～7月に7～10個の卵を年に1、2回に分けて産み雌のみが抱卵し、抱卵期間は13～14日で、雛は孵化してから16～22日で巣立つようです。これからが楽しみです。良い写真が撮れれば、また掲載したいと思います。

大変遅くなりましたが、平成23年度活動計画及び22年度決算報告を添付しますので、ご確認ください。

平成23年度 弓削野鳥の会活動計画

集合場所：弓削中央公民館 （午前9：00 集合）

開催日	活動内容	場所	備考
4月24日	夏鳥を探そう	佐島方面	
5月29日	渡り鳥の観察	生名方面	
6月26日	水辺の鳥の観察	佐島方面	
7月31日	ツバメの観察	上弓削方面	
8月28日	弓削の野鳥 (バードリスニング)	三山周辺	
9月25日	渡り鳥の観察	狩尾・大谷方面	
10月30日	冬鳥の観察	日比・久司山	
11月27日	猛禽類の識別	狩尾・大谷方面	
12月25日	冬鳥の観察	日比・鎌田方面	
1月29日	町外遠征	西条方面	
2月26日	冬鳥の観察	久司山方面	
3月25日	春を探そう	三山周辺	

※雨天の場合は中止

※都合により日時が変更になることがあります。その際には連絡網で回します。

※公民館に集合し、それぞれの車に分乗し観察場所まで行く。

※参加者は各自必ずゴミ袋を持参し、放置されている空き缶などのゴミを拾う等、自然環境の美化に努める。

◎島外観察については旅費：実費個人負担とする。また、弁当等についても各自準備すること。